

<p>△産業宣教 産業人の根本土台(創 12:1-3)</p>	<p>△RT と TCK 伝道学 レムナントの宣教土台(創 41:1-38)</p>	<p>△核心 伝道弟子の土台(エペ 1:1-13)</p>
<p>産業人が祈りの答えを実際に味わう主役になる必要がある。神様は初期のタラップンから始めて 5 千種族まで実際の答えを与えておられる。5 千種族の中には人材が多い。</p> <p>△産業人の根本土台:契約的祝福、代表的祝福、記念碑的祝福、根源的祝福、不可抗力的祝福を約束された。</p> <p>□序論</p> <p>1. 考えをたくさんすれば、創 3 章に引っかけた祈りの答えがない。ネフィリムに (6) 引かかるようになって、崩れ落ちるバベルの塔に (11) なる。それゆえ、考えを 24 祈り に変えることが 幸せ である必要がある。</p> <p>2. 25 が来る が 答え の基準。神様の働きが見えることが答えの核。イエスが説明された神の国が臨むように祈るべき。</p> <p>3. このときから、三つの庭が見える。パウロが一番最初に出て行って祈ったところが異邦人の庭、伝道した重要な庭が癒やし庭、訪ねて行ったところが会堂、子どもたちの庭だ。三つの庭に集中することが皆さんの産業が 永遠の作品 になることだ。</p> <p>△24、25、永遠という時刻表は、私たちの運命だ。これを回復すればまことの答えが来る。</p> <p>□本論_本来与えられたことを回復</p> <p>1. エデンの産業</p> <p>1) 創 1:27 神のかたちとして創造されて</p> <p>2) 創 2:7 いのちの息を吹き込まれた。</p> <p>3) 創 2:18 エデンという祝福の現場を与えて治めなさいと言われた。</p> <p>2. 箱舟の産業 人を生かさなければならぬので。</p> <p>1) 創 6:14 あなたのために箱舟を作りなさい。</p> <p>2) 創 6:18 あなたの子どもたちが生きる道だ。</p> <p>3) 創 6:20 万物のいのちを生かさず方法だ。</p> <p>3. 出カルデア産業 24 祈りの幸せを味わえば根本を見つけるようになる。</p> <p>1) 創 11:1-8 すでにバベルの塔が崩れ始めた。</p> <p>2) 創 12:1-3 そこから出て来なさいということだ。</p> <p>3) 創 13:14-18 「ロトがアブラハムと別れた後」このときから、祭壇を築き始めた。</p> <p>4) 創 14:14-20 神様は 300 人という家で訓練された者を置いて戦争に勝つようにされた。</p> <p>5) 創 22:1-21 モリヤの山の事件だ。あなたの子孫によって国々が祝福を受けるようになるという契約を与えられた。</p>	<p>□序論</p> <p>創 41:38 レムナントが作らなければならぬ黙想運動、王が「あなたは神の霊が宿る者」と言った 見張り人 やぐら、旅程、道しるべ-宣教の土台</p> <p>△見張り人はやぐらがなければならぬ。このやぐらは動くために、世界化する旅程を行う。そして、行く所々でいのち運動が起こるのが道しるべだ。これを見ながらレムナントは「宣教の土台」を作る。</p> <p>□本論</p> <p>1. RT-237-レムナントは 237 になることが基準だ。</p> <p>1) エジプト-エジプトに行かないので送ったのだ。そこに 237 があるから。</p> <p>2) アッシリア-アッシリアがイスラエルを飲み込んで全世界の奴隷市場に売ったのだ。</p> <p>3) アラム-アラム語を世界的に使えるほど大きく世界化されたアラムに送ったのだ。</p> <p>4) バビロン-127 か国を動かすバビロンに送ったのだ。</p> <p>5) ローマ-すべての道はローマに!ここに福音を持つ人を送ったのだ。</p> <p>2. TCK - 5000 種族</p> <p>1) 弟子-そこに必ず弟子が備えられている。</p> <p>2) RT-この弟子が 5000 種族レムナントを生かさようになる。</p> <p>3) 人材-その中に人材が出て来る。</p> <p>3. CCK-NCK</p> <p>1) 後進国病氣(からだ) -からだを癒やさなければならぬ。</p> <p>2) 先進国病氣(精神) -おもに精神的な病氣が多い。</p> <p>3) 中進国病氣(思想) -先進国はどこかについて行かなければならぬので、思想的な病氣がある。</p> <p>□結論_なぜ? 私をこのときに呼ばれたのだろうか</p> <p>1. 当然性-すべてから当然性を見つけるべきだ。</p> <p>2. 必然性-神様が私を必要とされるのだ。</p> <p>3. 絶対性-神様の絶対計画があるのだ。</p>	<p>WRC は一時間、一つの場所に彼らを集めて彼らが戻って福音運動するようになさるのだ。働き人は、24 祈りの中で仕事をする必要がある。</p> <p>□序論_必ずすべきこと</p> <p>1. 平日</p> <p>1) 力(3 集中) -朝に起きれば健康と力を回復するほど祈って、昼にはすべてのことを祈りに変える。夜にはメッセージが確実に整理されるように祈る。</p> <p>2) 作品(3 セットアップ)が出て来る。</p> <p>3) 237-5000 と合う(3 答え)</p> <p>2. 土</p> <p>1) 公生涯-みな捨てて、みな変えなさい。十字架を背負う。助け主聖霊を送る。</p> <p>2) 40 日間説明した神の国のことを味わうように集中祈り</p> <p>3) 10 日間この契約を握って祈り→五旬節の働き</p> <p>4) 主日-牧師を通して神様のみことばを握る(使 2:42)</p> <p>5) 毎日-握ったみことばを六日間思い出すべきだ(使 2:46-47)</p> <p>6) 定刻-ともに祈るべき方向が見える(使 3:1)。</p> <p>7) 24 25 永遠が出て来る。</p> <p>3. 主日-集中体験</p> <p>1) ヨハ 14:14 わたしの名で祈りなさい。</p> <p>2) ヨハ 17:11-12 その名は神様の御名</p> <p>3) マタ 1:19-22 その名はインマヌエル</p> <p>4) 身分-神様が祈ることができる資格を与えられた。</p> <p>5) 権威-重要な問題は主イエス・キリストの御名で権威を祈ることだ。</p> <p>△そうすれば、月曜日からはみことばを握ることができる。それを一週間続けて祈って、核心、火曜集会に行けば変わる。それを今逃しているのだ。</p>
<p>□結論</p> <p>1. あらゆる事を 対話 するように 24 祈り すれば、神様は私の心に御声を聞かせてくださる。</p> <p>2. 身分と権威 を味わう祈りで時空超越の祝福を味わうようになる。25 だ。</p> <p>3. 永遠は未来を準備する作品が出て来ることだ。</p>	<p>△散らされた弟子たち 散らされた弟子の土台 (I ペテ 1:1)</p> <p>1. まことの悔い改めをしなないので、次世代が奴隷に行った。(出 3:1-20) 神様がこのとき、回復させたのだ。「血のいけにえを献げに行きなさい」</p> <p>2. 捕虜(ダニ 1:8-9) 悟れないで、また、捕虜になって行ったので、これを悟った人が心を定めた。</p> <p>3. 属国に(使 1:8) 「イスラエルの国を回復するのはこの時ですか」「あなたがたは知らなくても良い」先にすべきことがある。「しかし(ただ) 聖霊があながたがに臨めば力を受けて」</p> <p>4. 寄留者(I ペテ 1:1) 皆さんの次世代、本当の信仰の家族が寄留者として生きるようになった。</p> <p>5. そうするうちに散らされた者で。(使 11:19) 初代教会を見なさい、「散らされた者が集まって」これが散らされた弟子たちが覚える必要があることで、私たちが本当に悟らなければならないことだ。</p>	<p>□本論_隠された土台</p> <p>1. 7 わざわい-そのときごとに、レムナント 7 人が出て来た。厄機 が来たとき、神様が重要な土台を置かれた。</p> <p>2. 10 の土台 神様の絶対主権を信じる。神様の方法、イエス キリスト。神様の力、ただ聖霊。神様の保証、みことば。神様の絶対理由、救われた私。私がいるすべての場所、宣教地。私の座る立つことすべての所で導かれる神様。私たちすべては限りのある人生。必ず来世がある。それゆえ、水一杯も伝道のためのことは報いを失わない。私たちの土台は 絶対 的なこと、神様のことだ。</p> <p>△信じて求めたことは受けたと信じなさい。</p> <p>3. 永遠の土台</p> <p>ロマ 16:25-27 - 「世々にわたって隠されていて、とこしえまであることを今、あなたに」味わいなさい。</p> <p>△今日、明日最高の答えを受けて最高の力を受けなければならない。健康も回復しなければならない。</p>

△区域メッセージ第 29 週 Practice やぐらと永遠の答え (I 歴 29:10-14)	△聖日 1 部 患難と慰め (II コリ 1:1-11)	△聖日 2 部 土の器の中の宝 (II コリ 4:1-15)
<p>□序論</p> <p>1. 毎日 3 集中しなければならぬ。朝、昼、夜だけでも、ものすごい力ができる。</p> <p>2. 聖日に常に考えなければならぬことがある。イエスがオリーブ山で与えられた約束が「聖霊」に満たされなさいということだ。このミッションをマルコの屋上の部屋で体験するようにさせたのだ。聖日に礼拝だけ回復しても良い。すると、すべての問題、病気がみな解決される。これが平日にも影響を与える。いよいよ私と教会の祈りが通じる。それを定刻祈りと言う。すると、ある日、24・25・永遠になるようになる。</p> <p>3. 身分祈り、権威祈り それゆえ、一日中、身分を持って祈るのだ。そして、私たちにはイエス・キリストの御名によって祈る権威が与えられた。「わたしは、あなたがたに蛇とサソリに勝つ権威を与える」と言われた。 △マコ 11:24 - 信じて求めたことは受けたと信じなさいと言われた。</p> <p>□本論_作品</p> <p>1. ヨセフ(創 37:1-11-45:1-5) - ヨセフは幼いとき、世界福音化の契約を握ったが、総理になって全世界を動かした。</p> <p>2. モーセ(出 2:1-10-幕屋、三つの祭り、契約の箱) - モーセが母親に聞いた契約が、ある日モーセを世界を動かす人に変えた。荒野で「幕屋運動、三つの祭り、契約の箱事件」はモーセを通して来た。</p> <p>3. ダビデ(1サム 16:1-13-1千やぐら、神殿) - ダビデはサムエルが来て油を注いで、王になるという契約を握ったが、一干やぐらを建てて、神殿を完全に準備させた。</p> <p>4. 初代教会(1、3、8-世界福音化) - 何の力もない初代教会にキリストが直接現れて「神の国、ただ聖霊に満たされなさい」と言われたが、この人々が世界福音化した。</p> <p>5. カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の部屋-残された作品であるカルバリの丘の十字架事件は地上最高、最大の事件だった。最後に呼ばれてミッションを与えられた。ただ聖霊によって。この契約を堅く握って集まったが、それがマルコの屋上の部屋だった。</p> <p>6. 三つの庭-そこに三つの庭を作るのだ。</p> <p>7. 237、癒やし、サミット- 237 か国と人々を癒やして、サミットにすることをできるようになる。</p> <p>□結論</p> <p>1. プラットフォーム-目に見えないように、霊的プラットフォームが作られるのだ。世界福音化される前に、私の心と精神、たましいの中に先にプラットフォームが作られる。</p> <p>2. 見張り台-この光を照らす見張り台を建てることができるようになる。</p> <p>3. アンテナ-神様が与えてくださったアンテナで全世界と通じるようになる。</p>	<p>□序論</p> <p>1. 患難にあう時 1) ほとんどは失敗、錯覚、自殺、解決のために人を訪ねる。 2) パウロ「ほめたたえます」(神様の慰めを見て)</p> <p>2. 患難とわざわい 1) 救われた者-神の子ども/救われなかった者-悪魔の子ども(ヨハ 8:44) 2) 悪魔が与える試み(temptation)と神様の試み(test) 3) 患難とわざわいは救われていない者-滅亡、救われた者-祝福 (1) ノアの洪水 救われなかった者(わざわい)、箱舟を作った者(洪水のために生きようになる) (2) エジプトの 10 のわざわい 救われなかった者-滅亡/救われた者-解放 (3) ヨセフがエジプト、監獄に行った (4) 王に追われたダビデ</p> <p>3. 患難のとき、堅く握るべきこと 1) 神様の慰めを受けて困難な目にあっている人を生かすようにするため(4, 5, 7 節) 2) 大きな死の危険から私たちを救い出され、また救い出されるだろう(10 節) 神様に完全に任せて、希望の契約を握って祈りなさい。 (1) ヨナ(ヨナ 2:2) (2) パウロが契約を握って患難を恐れないで実際の世界福音化 (3) アブラハム・リンカーン ガラ 3:28 契約を堅く握る。</p> <p>□本論</p> <p>1. 患難を恐れてはいけない理由 1) ヨブ 3:25 普段の恐れ患難に 2) I ヨハ 4:18-19 神様なく恐れ-患難近づく 3) I ペテ 5:7-8 思い煩いを主に任せて、正確な神様の契約を握りなさい 4) エベ 4:27 争って怒って思い煩うとき、悪魔が機会を利用する。</p> <p>2. 患難は希望と祝福の通路-世界福音化の道 1) モーセ 奴隷時代に血のいけにえの契約を握った時に用いられる 2) 契約を持っていたサムエル-生きていた間戦争がなかった。 3) ダビデ ゴリヤテが機会 4) 初代教会 最悪の危機の中でまことの契約を持っていた人々</p> <p>3. 患難は終末時代を生かす道 1) マタ 24:14 2) II テモ 3:14-15 3) 黙 12:1-9、1:3 4) ダニ 10:10-21 5) 黙 8:3-5</p> <p>□結論 II コリ 1:11 祈りで私たちを助けてください</p> <p>1. 初代教会のときの祈り 1) イエス様の約束(使 1:8、ヨハ 14:26、16:13) 2) オリーブ山御座の奥義 3) 五旬節の日</p> <p>2. 祈りの奥義を知る 24、25、永遠のチームが構成されれば世の中を変えろ。 1) イスラエル滅亡、流浪民族 2) 250 年間ローマの迫害 3) 患難のとき確実な契約を握って祈り 4) 神様が私たちに慰めてくださる</p> <p>3. 患難のうちにヨブの告白 1) ヨブ 1:20-22 2) ヨブ 19:25 3) ヨブ 23:10</p>	<p>絶対に滅びることができない理由-たとえ私たちが土の器のようでも、宝を持っている。</p> <p>□序論 創 15:6、伝 14:10-12、イザ 22:20-22 神様のみことばを信じる瞬間に義と認められる。神様のみことばはよく打ち込まれた釘のようだ。その上にイスラエルのすべての栄光がかけられる。</p> <p>1. 私が神の子どもであることが確認される瞬間サタンが縛られる。 1) 神様のあわれみを受けている者なので落胆することがない(1 節) 2) 神様のみことばを曲げず(2 節) 3) 滅び行く人々、ユダヤ人には覆いがかかっているのだ(3 節) 4) この世の神が思いを暗くさせる(4 節) 5) 証拠(5 節) - イエス・キリストが主となられたのと、私たちはそのしもべとなったこと</p> <p>2. 私の価値を分かる瞬間、暗闇が縛られる。 1) 土の器に宝を入れたので力が私たちにないが、神様にある(7 節) 2) 迫害にあっても、見捨てられない(8 節) 3) JK をこの土の器に閉じ込めておいた(10 節)</p> <p>3. 神様のみことばを握って使命を悟る瞬間、暗闇の文化が縛られる。 1) 肉に従って見るのは失敗(II コリ 5:16) 2) 再創造された被造物(II コリ 5:17) - サタンの民から神の子どもに、地獄の背景から天国の背景に、滅亡の道から救いの道に 3) キリストによって、私たちを和解させてくださった(II コリ 5:18)</p> <p>△みことばを握る瞬間、サタン、暗闇、暗闇文化が縛られる。</p> <p>□本論_どんな宝を持ったのか</p> <p>1. 三位一体の神様が与えてくださるいのちの宝が入れられた 1) 創 1:27 神のかたち 2) 創 2:7 いのちの息 3) 創 2:18 エデンの祝福を与えてくださった。</p> <p>2. エデンの園で約束された救いの宝が入れられた 1) 創 3:15 女の子孫 2) 創 6:14 箱舟の中に入れば生きる。 3) 出 3:18 血のいけにえを献げに行きなさい。 4) イザ 7:14 インマヌエル 5) マタ 16:16 キリスト</p> <p>3. 世の中を生かす見張り人の宝が入れられた 1) 7 やぐら 2) 旅程 3) 道しるべ</p> <p>□結論 使 19:8 神の国について大胆に説明</p> <p>1. 創 18:17 私がしようとするのをあなたがたに知らせないだろうか。みことばを握りなさい。</p> <p>2. 出 3:18-20 血のいけにえを献げに行きなさい。わたしが力ある御手であるたとともにいる。</p> <p>3. ヨシ 1:1-9 わたしがあなたとともにいる。すでにこの地を与えた。大胆でありなさい。</p> <p>4. I サム 16:1-13 大きな困難があるならば、大きな計画がある。</p> <p>5. 使 1:3-8 神の国のこと、父の約束されたことを待ちなさい。聖霊に満たされれば力を受けるようになって、地の果てまで証人になる。 △私の霊的価値を知らなければならぬ。世の中を生かす力が与えられたのだ。</p>